

泉のまち

第80回
ヴェネチア国際映画祭
金獅子賞受賞!
80

ヨルゴス・ランティモス監督最新作

エマ・ストーン マーク・ラファロ ウィレム・デフォー
ラミー・ユセフ クリストファー・アボット
ジェロッド・カーマイケル

サーチライト・ピクチャーズ PRESENTS FILM AND TSGエンターテインメント IN CO-PRODUCTION WITH ELEMENT PICTURES "哀れなるものたち"
監督 ヨルゴス・ランティモス 脚本 ジャースティン・ブランリス 撮影 ジニー・バーン ヘンリック・ブルム 入札監督 アーティスティシャン
音楽 ローラン・ラザルス 音響効果 ローラン・ラザルス 照明 ルイ・ラザルス 美術監修 ハビブ・ハリス 美術監修 ブルト・ワイトマン
撮影監督 ロビー・ライアード A.C.E. プロダクションデザイン ルイ・ラザルス 美術監修 ハビブ・ハリス 美術監修 ブルト・ワイトマン
原作 オリー・マルティーニ・ダニエル・バトセク 製作プロデューサー ケイシ・マリ・バン
脚本 エド・ギーン A.C.E. アンドリュー・ローフ A.C.E. ヨルゴス・ランティモス P.G.A. エマ・ストーン P.G.A.
監督 アラスター・グレイ 编集 トニー・マクマラ 制作ヨルゴス・ランティモス

SEARCHLIGHT
PICTURES



80 第80回ヴェネチア国際映画祭 金獅子賞受賞

全世界で大ヒットを記録したアカデミー賞10部門『女王陛下のお気に入り』の天才監督ヨルゴス・ランティモスとエマ・ストーンが誇る
映画史上最も大胆で空前絶後の“冒険”

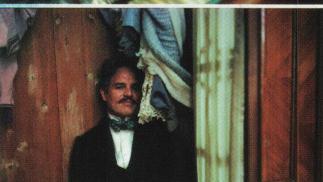
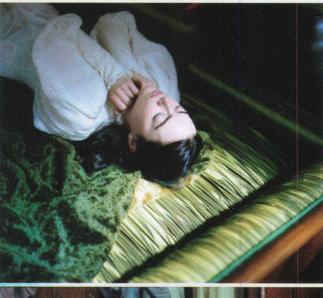
INTRODUCTION INTRODUCTION INTRODUCTION

『女王陛下のお気に入り』で映画賞を席巻したヨルゴス・ランティモス監督が、再びエマ・ストーンとの最強タッグを組んで贈るのは、想像を遥かに超えた麗しかつあまりにも大胆な冒險物語。第80回ヴェネチア国際映画祭でかつてない大絶賛を受けて、栄えある最高賞である金獅子賞を受賞した。

世界最高峰の才能を集めて構築されたのは、眩いほどの色彩を散りばめた壯麗かつ緻密な美術、ユーモラスでありながら莊厳で情感あふれる音楽、華麗かつ大胆さを極めた衣装、度肝を抜くカメラワークを駆使した撮影。さらに、奇想天外でありながら映画史に残るカタルシスに満ちたエンディングへと導く脚本に支えられ、ランティモス監督にしか成し得ない、10年に1度の壮大な傑作が誕生した。

主人公ベラには、『ラ・ラ・ランド』でアカデミー賞主演女優賞を受賞し、2度目の受賞が期待されるエマ・ストーン。本作ではプロデューサーとしても名を連ねる。また、ベラの父親代わりとなる天才外科医のゴッドウィン・バクスターを名優ヴィレム・デフォー、ベラを波乱の旅に連れ出すダンカンを『アベンジャーズ』シリーズのハルク役で知られるマーク・ラファロが演じるなど、一癖も二癖もある芸達者たちが脇を固める。

映画批評サイトRotten Tomatoesでは98%Fresh(9/9現在)と驚異的な評価を更新中! 各国のレビューでも5つ星を連発、早くもアカデミー賞最有力の声が高らかに鳴り響いている。



STORY STORY

自ら命を絶った不幸な若き女性ベラは、天才外科医ゴッドウィンの手によって、奇跡的に蘇生する。ゴッドウィンの庇護のもと日に日に回復するベラだったが、「世界を自分の目で見たい」という強い欲望に駆られ、放蕩者の弁護士ダンカンの誘惑で、ヨーロッパ横断の旅に出る。急速に、貪欲に世界を吸収していくベラは、やがて時代の偏見から解き放たれ、自分の力で真の自由と平等とを見つけていく。そんな中、ある報せを受け取ったベラは帰郷を決意するのだが——。

原作:「哀れなるものたち」(ラスター・クレイ著、早川書房刊)

2023年/イギリス/上映時間2時間22分

原題:POOR THINGS 配給:ウォルト・ディズニー・ジャパン

監督:ヨルゴス・ランティモス 脚本:ヨルゴス・ランティモス、エマ・ストーン

音楽:ジョン・カーペンター 撮影:ジョン・カーペンター

編集:ジョン・カーペンター 製作:ジョン・カーペンター

音響:ジョン・カーペンター 美術:ジョン・カーペンター

衣装:ジョン・カーペンター 化粧:ジョン・カーペンター

撮影監督:ジョン・カーペンター

音楽監督:ジョン・カーペンター

美術監督:ジョン・カーペンター

衣装監督:ジョン・カーペンター

撮影監督:ジョン・カーペンター

音楽監督:ジョン・カーペンター